

起動操作に失敗

対象バージョン: SSC3.2 以降

Q.

起動操作が失敗しました。対処方法を教えてください。

A.


エラーの原因の確認方法、および対処方法について、以下の章構成で説明します。

- 「[1.エラーの原因の確認方法（1 ページ）](#)」
- 「[2.ジョブが異常終了した場合の対処方法（3 ページ）](#)」
- 「[3.ジョブの状態が "Warning" の場合の対処方法（8 ページ）](#)」
- 「[4.詳細説明が記載された資料について（9 ページ）](#)」

1.エラーの原因の確認方法

1. Web コンソールの [監視] ビューを表示します。
2. 「ジョブ履歴」画面で、"マシンを起動"のジョブの実行結果を確認してください。
異常終了したジョブはピンク色で、警告のジョブは黄色で表示されます。






指定日時から、指定した日数分、ジョブを100件まで検索します。

開始日時  19: ▾ 49: ▾ 35 ▾ から 1 ▾ 日前まで

更新

[オプション](#)

[← 前の期間](#) | [次の期間 →](#)

	番号	開始日時	終了日時	状態	イベント	ソース	概要
	00233	2011/07/11 19:45:03	2011/07/11 19:49:19	Warning	UC00769	admin	ジョブの実行 (マシンを起動)
	00233-00	2011/07/11 19:45:03	2011/07/11 19:49:18	Success	UC00769		マシンを起動する (w2k3-01)
	00232	2011/07/11 19:37:15	2011/07/11 19:37:19	Failed	UC00768	admin	ジョブの実行 (マシンを起動)
	00232-00	2011/07/11 19:37:15	2011/07/11 19:37:19	Abnormal Termination	UC00768		マシンを起動する (w2k3-01) (指定された操作が異常終了しました。([Out-of-Band Management] マシンのOOBのログインに失敗しました。アカウント情報が間違っています。接続先のログインシステムによっては大文字/小文字が区別されることがあるため注意してください。) (マシン=w2k3-01; エラーコード=10206613) [DeploymentManager] Session: DPMサーバが成功以外の終了コードを返却しました。(HTTP Status is not 200))
	00231	2011/07/11 19:35:07	2011/07/11 19:35:39	Warning	UC00766	admin	ジョブの実行 (マシンアカウント更新)
	00230	2011/07/11 19:33:58	2011/07/11 19:35:06	Completed	UC00765	admin	ジョブの実行 (マシンをシャットダウン)

[← 前の期間](#) | [次の期間 →](#)

3. ジョブが異常終了した場合、対象ジョブの+アイコンをクリックすると、詳細情報にエラーの原因が表示されます。「[2.ジョブが異常終了した場合の対処方法 \(3 ページ\)](#)」を参照して、対処方法を確認してください。

4. ジョブの状態が "Warning" の場合、詳細情報には警告の情報は出力されません。

以下の手順で、運用ログを確認してください。

- a. 対象ジョブのイベント列のリンク "UCXXXXX"、または "REXXXXX" をクリックします。当該ジョブの運用ログのみが表示されます。
- b. [レベル] 列が"警告"の行に、警告の情報が表示されます。「[3.ジョブの状態が "Warning" の場合の対処方法 \(8 ページ\)](#)」を参照して、対処方法を確認してください。

イベント					
番号	UC00769				
受付日時	2011/07/11 19:45:03				
発生日時	2011/07/11 19:45:03				
状態	Warning				
通報元	UniversalConnector				
ソース	admin				
イベント区分	その他				
イベント					
ジョブID	00233				
メッセージ	ジョブの実行 (マシンを起動)				

ジョブ					
フィルタ	条件...				
<input type="checkbox"/>	番号 ▾	開始日時	終了日時	状態	概要
<input checked="" type="checkbox"/>	00233-00	2011/07/11 19:45:03	2011/07/11 19:49:18	Success	マシンを起動する (w2k3-01)

運用ログ				
表示件数	50 ▾	レベル	通常 ▾	
日時 ▾	レベル	ジョブID	メッセージ	
2011/07/11 19:49:19	警告	00233	ジョブが終了しました。処理の一部に警告が発生しています。(admin)	
2011/07/11 19:49:18	通常	00233-00	アクション (マシンを起動する (w2k3-01)) が (admin) で正常終了しました。	
2011/07/11 19:45:22	警告	00233-00	アクションの状況: (25%) : マシンのOOBのログインに失敗しました。アカウント情報が間違っています。接続先のログインシステムによっては大文字/小文字が区別されることがあるため注意してください。(マシン=w2k3-01; エラーコード=10206613)	
2011/07/11 19:45:03	通常	00233-00	アクション (マシンを起動する) を (admin) で実行します。	
2011/07/11 19:45:03	通常	00233	ジョブを開始します。(admin) : 1	
2011/07/11 19:45:03	通常		ジョブの実行 (マシンを起動)	

2. ジョブが異常終了した場合の対処方法

詳細情報に表示される内容別に考えられるエラー原因、対処方法を説明します。

DPM サーバとの通信時にエラーが発生しました。

DPM サーバが成功以外の終了コードを返却しました。

- DeploymentManager の管理サーバ上の Internet Information Services (IIS)のサービスの停止や、SystemProvisioing と DeploymentManager 間のネットワークの問題が原因で、SystemProvisioing から IIS に接続できない場合、上記エラーになります。IIS のサービスの起動状態や設定、SystemProvisioing と DeploymentManager 間の通信経路に問題がないか確認してください。

ソケットでエラーが発生しました。

サーバ(XXXXXX)の電源 ON に失敗しました。電源 ON に失敗しました。

- 管理サーバ上の DeploymentManager のサービスが停止している場合、上記メッセージのエラーが発生します。DeploymentManager のサービスの起動状態を確認し、問題がある場合は起動しなおしてください。

サーバ(XXXXXX)の状態取得に失敗しました。

- 管理対象マシンが DeploymentManager に登録されていない場合、DeploymentManager 経由で電源制御することができません。DeploymentManager の Web コンソールで、管理対象マシンが登録されているか確認してください。
- 管理対象マシンの UUID とプライマリ NIC(NIC 番号 1 番の NIC)の MAC アドレスについて、DeploymentManager と SigmaSystemCenter に登録されている情報が異なるとエラーになります。登録情報が一致するように登録しなおしてください。

操作がタイムアウトしました。

- DeploymentManager を利用した電源制御が実行された場合、下記の要因で、管理対象マシンの電源がオンにならない場合があります。SigmaSystemCenter は管理対象マシン側の処理状況を把握することができないため、操作がタイムアウトするまでエラーを検出することができません。
 - 管理対象マシンの BIOS 設定で WakeOnLan(WOL)の設定が無効になっている場合は、WOL できません。管理対象マシンのハードウェアのマニュアルを参考に、BIOS 設定を変更してください。
 - 管理対象マシンの電源ボタンを長押しで電源オフしたか、前回シャットダウン後にターゲットへの通電が切れることがなかったか確認してください。WOL を行うためには、管理対象マシンの NIC への通電(S5 状態)が必要です。該当する場合は、WOL できませんので、管理対象マシンの電源ボタンを押下し、マシンを起動してください。
 - 管理対象マシンの OS が Windows の場合、機種によっては、管理対象マシンの OS 上のネットワーク設定で WOL 設定を既定値から変更する必要があります。既定値のまま利用している場合は、WOL することができません。管理対象マシンのハードウェアのマニュアルを参考に、管理対象マシンの OS のネットワーク設定を変更してください。
 - ネットワークケーブルが切断していたり、ファイアウォールで遮断されていたりなど、管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上に問題がある場合、管理対象マシンへ WOL パケットが届かないため、管理対象マシンは起動しません。管理サーバと管理対象マシン間のネットワークに問題がないか確認してください。
 - 別セグメントの管理対象マシンを WOL させる場合、DeploymentManager に登録するグループに、デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの設定が必要になります。また、ゲートウェイに、ダイレクトブロードキャストをルーティングする設定が必要になります。
- 管理対象マシンが起動途中で止まってしまった場合、SigmaSystemCenter は管理対象マシンの OS 起動成功を確認するまで、管理対象マシン側の処理状況を把握することができないため、操作がタイムアウトするまでエラーを検出することができません。OS 起動確認は、物理サーバの場合、DeploymentManager 経由で Ping による疎通確認で行います。仮想マシンサーバと仮想マシンの場合、各仮想基盤製品による起動状態(接続状態)

の確認で行います。管理対象マシンのコンソールで、管理対象マシンの状態を確認してください。途中で止まっている場合は、正常に起動できるように管理対象マシンをセッティングしてください。

- VMware/XenServer/Hyper-V の仮想マシンの場合、仮想マシンに VMwareTools/XenServerTools/Hyper-V 統合サービスがインストールされていないと、OS 起動状態を確認できないため、タイムアウトエラーになります。VMwareTools/XenServerTools/Hyper-V 統合サービスを、仮想マシンにインストールした状態で利用してください。
- 仮想マシンの起動時にサービスの起動待ち合せの指定をしている場合、待ち合せ対象のサービスの起動が遅延することにより、本メッセージのエラーが発生する場合があります。本原因の場合は、サービス起動の遅延理由を確認して対処を行ってください。
- vSAN 環境の場合は、vSAN クラスタでのオブジェクトの同期処理の時間が長くなり、本メッセージのエラーが発生する場合があります。本原因の場合は、同期処理の完了後に再度操作を行ってください。

仮想マシン'xx'でスクリプト'xx'の実行が戻り値'3'で失敗しました。

仮想マシン'xx'のサービスの起動待ちが失敗しました。理由:仮想マシンのサービスの起動状態のチェックでタイムアウトが発生しました。

- 仮想マシンの起動時にサービスの起動待ち合せの指定をしている場合、待ち合せ対象のサービスの起動が遅延することにより、本メッセージのエラーが発生する場合があります。本原因の場合は、サービス起動の遅延理由を確認して対処を行ってください。

マシンの OOB 接続に失敗しました。OOB アカウント情報の接続先の内容、または、ネットワーク経路上に問題がないか確認してください。

- BMC へ接続に失敗した場合にエラーになります。表示内容の通り、SigmaSystemCenter の BMC の接続先の設定内容や、SigmaSystemCenter 管理サーバと管理対象マシン BMC 間のネットワーク経路上に問題がないか確認してください。

詳細: 最適起動が無効であるため、起動場所となる VM サーバの探索は行なわれませんでした。

- 最適起動が無効である場合、仮想マシンを起動するためには、現在ホストとしている仮想マシンサーバが、以下の条件をすべて満たす必要があります。仮想マシンサーバの状態を確認して下さい。
 - 起動状態である
 - メンテナンス中でない
 - 処理中でない
 - 故障状態でない
 - キャパシティに空きがある
 - 対象仮想マシンの配置制約に違反しない

詳細：起動場所候補となる VM サーバが存在しません。

詳細：VM(xx)の起動場所となる VM サーバが見つかりませんでした。

- 最適起動が有効のとき、起動場所として適切なホストが存在しない場合は、上記のメッセージを出力し、異常終了します。仮想マシンの起動先となる仮想マシンサーバは、以下の条件をすべて満たす必要があります。以下の条件をすべて満たす仮想マシンサーバが存在することを確認して下さい。
 - メンテナンス中でない
 - 処理中(但し起動処理を除く)でない
 - 故障状態でない
 - キャパシティに空きがある
 - 対象仮想マシンの配置制約に違反しない
 - 対象仮想マシンの全仮想ディスクが、仮想マシンサーバに接続された Datastore 上に存在する

詳細: VM サーバ(xx.xx.xx.xx)の状態取得に失敗しました。(<追加情報>)

- 仮想環境において、SigmaSystemCenter が仮想環境の制御を行う製品に接続できない状態になったとき、仮想マシンの制御をすることができなくなります。
 - VMware(vCenter Server)環境の場合、SigmaSystemCenter から vCenter Server に接続できない状況で発生します。vCenter Server のサービスが停止していたり、SigmaSystemCenter と vCenter Server 間の接続経路に問題がないか確認してください。また、SigmaSystemCenter に登録している vCenter Server のアカウント名/パスワードが違う場合も、仮想マシンの制御をすることはできません。[管理]ビューから、[サブシステム]で"VMware vCenter Server"サブシステムの設定を確認してください。
 - XenServer 環境の場合、SigmaSystemCenter から Pool Master マシンに接続できない状況で発生します。SigmaSystemCenter と Pool Master マシン間の接続経路に問題がないか確認してください。また、SigmaSystemCenter に登録している Pool Master のアカウント名/パスワードが違う場合も、仮想マシンの制御をすることはできません。[管理]ビューから、[サブシステム]で"Citrix XenServer Pool Master"サブシステムの設定を確認してください。

マシン(xx.xx.xx.xx)に対する起動を実行できません。OOB マシンアカウントまたはサブシステム(DPM サーバ)が登録されていることを確認して下さい。

- 論理マシンで運用(ブートコンフィグ/サービスプロファイルを利用した運用)している場合、DeploymentManager 経由の電源制御(WOL)はサポートされません。BMC 経由の電源制御方法を利用する必要があります。管理対象の OOB のアカウント情報の登録を行ってください。

- ・ 仮想マシンサーバの起動操作は、仮想基盤製品経由で実行できません。仮想マシンサーバの起動操作を行うためには、DeploymentManager 経由か BMC 経由のどちらかの電源制御方法を利用する必要があります。管理対象の仮想マシンサーバを DeploymentManager に登録するか、OOB のアカウント情報の登録を行ってください。

依存先のマシン(XXX)が起動していないため、対象マシンを起動できません。

- ・ 対象マシンが他のマシンに依存している場合、依存先のマシンは起動状態である必要があります。以下のいずれかにより、対象マシンの起動時に依存先のマシンが起動状態となるようにしてください。依存関係および連動操作の詳細については、「[4.詳細説明が記載された資料について \(9 ページ\)](#)」に記載の資料を参照してください。
 - 先に依存先のマシンを起動する
 - 対象マシンと依存先のマシンを同時に指定する
 - 起動時の連動操作を有効にする

[VMware vCenter Server] 理由:<エラーメッセージ>

- ・ vCenter Server 経由での仮想マシンの起動において、vCenter Server 上でエラーが発生した場合、上記の<エラーメッセージ>が vCenter Server から返却されます。

次の VMware 社のナレッジ情報を確認して、解決してください。

- 仮想マシンがパワーオンできない場合のトラブルシューティング (82542)

<https://kb.vmware.com/s/article/82542>

仮想マシン'xx'のサービスの起動待ちが失敗しました。理由: vCenter Server または ESX との通信に予期しないエラーが発生しました。理由 : A general system error occurred: vix error codes = (1, 0).

仮想マシン'xx'のサービスの起動待ちが失敗しました。理由:ノード - xxxx エラー: 説明 = アクセスが拒否されました。

- ・ 起動時に行うサービスの起動待ち合せにて、仮想マシンに接続するために使用するアカウントが有効でない場合、上記のいずれかのエラーが発生します。
 - ゲスト OS の認証用アカウントが、ゲスト OS 上でログイン可能な有効なアカウントか確認してください。
 - マシンプロパティのアカウント情報で、IB タイプのアカウントの接続確認を行い、接続可能か確認してください。接続不可の場合は、アカウント情報を修正してください。

vSAN クラスタに参加していない vSAN ノード'XXXXXX'が存在します。

- ・ vSAN 環境上で vSAN ネットワークの通信ができない仮想マシンサーバ(VMware ESXi)が存在します。ネットワークを確認して対処を行ってください。

3. ジョブの状態が "Warning" の場合の対処方法

BMC (Baseboard Management Controller) 経由で電源制御で失敗した後、最終的に DeploymentManager 経由の制御で成功した場合、"Warning" でジョブが終了します。

運用ログの "警告" の行に表示される内容別に考えられるエラー原因、対処方法を説明します。

マシンの OOB のログインに失敗しました。アカウント情報が間違っています。接続先のログインシステムによっては大文字／小文字が区別されることがあるため注意してください。

- BMC に設定されたユーザ、パスワードの設定と、SigmaSystemCenter に登録された BMC に接続するためのユーザ、パスワードの設定が異なる場合、エラーになります。ユーザ、パスワードの設定が正しいか確認してください。

指定のマシンと異なるマシンにつながりました。OOB アカウント情報の接続先の内容を確認してください。

- SigmaSystemCenter に登録された BMC の接続先の IP 設定が、設定対象のマシンと異なるマシンの IP の場合、エラーになります。接続先の設定内容が、設定対象のマシンになっているか確認してください。
- その他、下記ケースのように、他マシンと BMC の IP 設定が重複した場合、本エラーになる可能性があります。BMC の接続先の IP 設定を、他と重複しないように設定してください。
 1. BMC の IP アドレス変更(他で使用していた IP を別の BMC に割り当てた場合)
 2. 故障ブレード交換(新ブレードの BMC に旧ブレードの IP 割り当てた場合)

OOB Management による XXX に失敗しました。設定されているアカウントでは権限が不足しています。(XXX = 操作名)

- BMC に設定されたアカウントの権限が不足している場合、エラーになります。BMC に設定されたアカウントの設定が、正しいか確認してください。アカウント設定については、BMC の Web コンソールから設定が可能です。

OOB Management による XXX に失敗しました。マシンの BMC が一時的にビジー状態だった可能性があります。(XXX = 操作名)

OOB Management による XXX に失敗しました。一時的にセッションの上限を超えた可能性があります。(XXX = 操作名)

- 同一の操作対象マシンの BMC に対し複数の操作が集中的に実行され、BMC が高負荷状態になった場合にエラーが発生します。BMC への制御が行われる操作は、起動操作以外に、SEL 情報取得やセンサー情報再取得などの他の OOB 管理の操作も該当します。エラーになった場合は、時間をおいて BMC の高負荷状態が解消した後に、再度操作を行ってください。

- 同一の BMC に対し多数の操作を一斉同時に行うなどの極端な負荷をかけない限りは、通常は本エラーは発生しません。エラーが多発する場合は、極端な負荷がかかるような利用方法に問題があると考えられるので、利用方法を見直してください。

4. 詳細説明が記載された資料について

SigmaSystemCenter の BMC の接続先の設定については、「SigmaSystemCenter ssc コマンドリファレンス」の「2.7 マシンアカウント」を参照してください。

BMC に設定されたアカウントについては、「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」の「3.10. Out-of-Band (OOB) Management を利用するための事前設定を行う」を参照してください。

電源制御の動作に関する詳細な説明については、以下のマニュアルを参照してください。

- SigmaSystemCenter 3.2
 - 「リファレンスガイド概要編」の「1.7. 電源制御について」
- SigmaSystemCenter 3.3～SigmaSystemCenter 3.5 ul
 - 「リファレンスガイド概要編」の「1.8. 電源制御について」
- SigmaSystemCenter 3.6 以降
 - 「リファレンスガイド」の「1.8. 電源制御について」

依存関係および連動操作の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

- SigmaSystemCenter 3.2
 - 「リファレンスガイド概要編」の「1.8. 依存関係による起動/停止順序の制御について」
- SigmaSystemCenter 3.3～SigmaSystemCenter 3.4
 - 「リファレンスガイド概要編」の「1.9. 依存関係による起動/停止順序の制御について」
- SigmaSystemCenter 3.5
 - 「リファレンスガイド概要編」の「1.8.3 電源制御のシーケンス」、「1.8.4 依存関係による起動 / 停止順序の制御について」
- SigmaSystemCenter 3.6 以降
 - 「リファレンスガイド」の「1.8.3 電源制御のシーケンス」、「1.8.4 依存関係による起動 / 停止順序の制御について」

本書の利用条件や免責事項などについては、次のページを参照してください。 <http://jpn.nec.com/site/termsofuse.html>

© NEC Corporation 2013 - 2023

SSC0313-doc-0019-2 2023 年 10 月

